

松江市 報道提供資料

令和7年4月15日

件名 松江歴史館企画展「松江の名工・小林如泥ーその技、神の如し」の開催について

内容 小林如泥は、松江藩松平家七代藩主松平治郷(号不昧)に仕えた指物師(木工細工の職人)で、透かし彫りや厚材の扱いに優れ、煙草盆や茶箱、建造物なども手がけました。「その技、神の如し」とたたえられた技は、後世の作り手に影響を与えました。本展では、如泥の作品と如泥に影響を受けた人々の作品を通して、松江が誇る木工文化のすばらしさを改めて紹介します。

会 期 令和7年(2025)4月25日(金)～6月15日(日)
毎週月曜休館(祝日の場合は翌平日) ※4月28日(月)は開館

会 場 松江歴史館 企画展示室

開館時間 9:00～17:00 ※観覧受付は16:30まで

【オープニング式典】

4月25日(金)9:00から、松江歴史館企画展示室前にてオープニング式典を開催します。

8:30受付開始。8:30～9:00は松江歴史館北門(職員通用口)から入場してください。(別紙参照)

【注目点】

- ◆如泥の代表作、東京国立博物館所蔵《袖障子》を松江市内で初めて展示
- ◆如泥作の3mの折り畳み梯子は必見！(長満寺蔵)
- ◆如泥作品34点が一堂に会する貴重な機会

【問い合わせ】

文化スポーツ部 松江歴史館 担当：大多和 電話：0852-55-5511

令和7年度松江歴史館企画展

松江の名工・小林如泥ーその技、神の如しー

会期 令和7年4月25日（金）～6月15日（日）

会場 松江歴史館 企画展示室

この度の企画展の概要になります。

- ◆指物師（木工の職人）・小林如泥（1753年～1813年）は松平治郷（号不昧）に仕えた名工のひとりです。
- ◆透かし彫りなどを得意とし、技法はいまだに解明されていません。



↑ 袖障子 | 東京国立博物館蔵
Image:TNM Image Archives



↑ 桑十牛図刀掛 島根県立古代出雲歴史博物館蔵

今回の企画展は松江が誇る木工文化の歴史を作品やパネルを使ってわかりやすくお伝えします。普段は東京国立博物館に収蔵されている「袖障子」や「茶箱」など松江で見ることのできない貴重な小林如泥の作品も展示します。

そのほかにも、如泥に影響を受けた後世の木工職人たちの作品も展示します。

【松江歴史館】企画展

「松江の名工・小林如泥ーその技、神の如しー」

オープニング式典のご案内

- 1 日時 令和7年(2025)4月25日(金)
9:00～9:15 オープニング式典
9:15～10:00 ギャラリートーク
- 2 受付 松江歴史館 玄関ホール(松江市殿町279番地)
8:30 受付開始
- 3 問合せ先 TEL 0852-55-5511 ※事前申込みは不要です。
- 4 会場入口 8:30から9:00までの間は、**松江歴史館 北門**からお入りください。
詳細は下図をご参照ください。
- 5 駐車場 松江歴史館の専用駐車場(北堀橋南詰東側)は来賓が使用するために空いていない場合があります。
使用状況については、4/23(水)17:00までにお問合せください。

北



南

松江城側(正門)からは入れません。
北門から敷地内へお入りください。
正面玄関まで係員がご案内します。
※敷地内に駐車場はありません。

担当者:松江歴史館 大多和
TEL0852-55-55111



袖障子 | 小林如泥作 | 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives

企画展

小、松江の名工 如泥

Kobayashi Jodei

神の如し

その技、

指物師 唸らせた 松平不昧も



緑森富士西行園透刀掛
小林如泥作 | 松江歴史館蔵

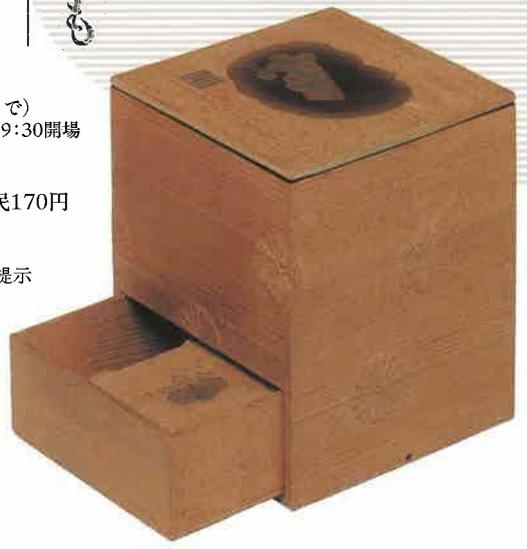


桑原草麻葉透刀掛 | 榎谷東谷軒作
絲原記念館蔵

2025
4.25(金) ▶ 6.15(日)

松江歴史館 企画展示室 9:00~17:00 (観覧受付は16:30まで)
4月25日(金)のみオープニング式典のため展示室は9:30開場

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌平日) ※ただし、4月28日(月)は開館
[観覧料] 大人:680円(540円)、松江市民340円 / 小・中学生:340円(270円)、松江市民170円
※()内は20名以上の団体料金 ※高校・大学・専門学校に通う学生は学生証の提示で団体料金
※基本展示室とのセット券の料金は大人1030円(820円)、小・中学生520円(420円)
※市民料金の適用を受けるには、運転免許証・マイナンバーカードなど、現住所が確認できるものを受付で提示
[主催] 松江歴史館 [特別協力] 国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館
[後援] 島根県、島根県教育委員会、朝日新聞松江総局、産経新聞社、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、山陰中央新報社、中国新聞社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、日本海テレビ、山陰ケーブルビジョン、エフエム山陰
※本展は国立博物館収蔵品貸与促進事業の特別協力を受けています。



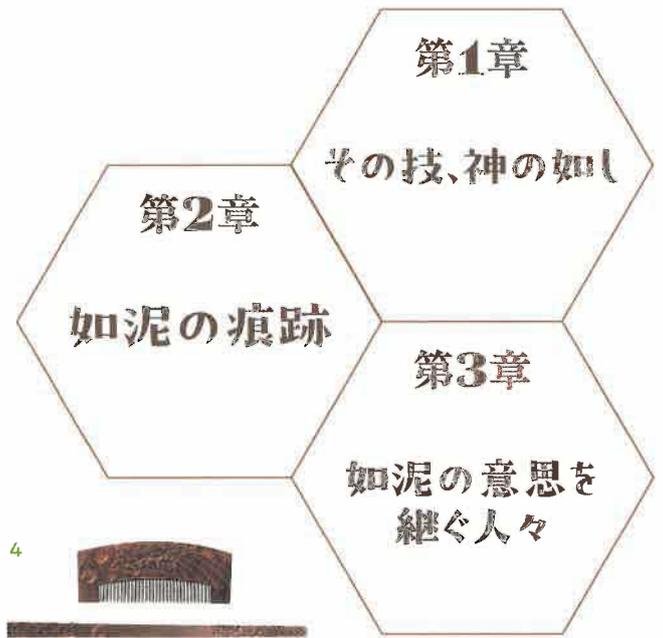
茶箱 | 小林如泥作 | 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives

松江歴史館 公式サイト
〒690-0887 島根県松江市殿町279番地
TEL. 0852-32-1607 FAX. 0852-32-1611
最新の情報はSNS、松江歴史館ホームページにてご確認ください

Kobayashi Jodei

小林如泥

こばやしじょでい
小林如泥 (宝暦3年(1753) - 文化10年(1813)) は、松江藩松平家七代藩主松平治郷(号不昧)に仕えた指物師(木工細工の職人)で、透かし彫りや厚材の扱いに優れ、煙草盆や茶箱、建造物なども手がけました。「その技、神の如し」とたたえられた技は、後世の作り手に影響を与えました。本展では、如泥の作品と如泥に影響を受けた人々の作品を通して、松江が誇る木工文化のすばらしさを改めてご紹介します。



1.竹箆 | 小林如泥作 | 個人蔵、2.神狐(原型) | 小林如泥作 | 城山稲荷神社蔵、3.桑桐瓢箆透手付煙草盆 | 小林如泥作 | 個人蔵、4.紫檀牡丹彫櫛・筥 | 小林如泥作 | 個人蔵

記念講演会
「如泥と不昧」
 日 時:4月26日(土)14:00~15:30
 会 場:松江歴史館 歴史の指南所
 講 師:藤原隆氏(出雲文化伝承館 館長)
 ※企画展観覧券または年間パスポートが必要です。
定員60名(先着順) 要申込
申込先 松江歴史館
 TEL.0852-32-1607

松江歴史のまち歩き(白濁地区)
「松江の名工・小林如泥の痕跡をたどる」
 日 時:5月10日(土)9:30~12:00
 集合場所:スティックビル(白濁本町43)
 ガ イ ド:松本道博氏(白濁公民館 館長)、展示担当学芸員
 参 加 費:800円(後日でも使える企画展観覧券付き) **申込締切 4/28**
定員20名程度(申込多数の場合は抽選) 要申込
申込先 松江市文化スポーツ部 文化財課 歴史まちづくり係
 TEL.0852-55-5956 または申込フォーム
 しまね電子申請サービス▶

ギャラリートーク
 学芸員による展示解説
 日 時:5月10日(土)、5月18日(日)、5月28日(水)、6月1日(日)
 各日14:00~15:00
 会 場:松江歴史館 企画展示室
 ※企画展観覧券または年間パスポートが必要です。
申込不要

市内交通バス
 ○ぐるっと松江レイクライン
 JR松江駅より13分(大手前廻川遊覧船乗場・歴史館前)下車徒歩3分
 ○一般路線バス JR松江駅より9分(職員会館前)下車徒歩5分
 JR松江駅より15分(塩見橋手)下車徒歩1分
自動車
 ○山陰道(松江西ICから県庁・松江城方面10分)
 ○松江歴史館専用駐車場あり(徒歩1分、12台、無料)
 ○当館敷地内におもいやり駐車場あり
飛行機
 ○出雲空港へ 東京(羽田)90分 / 大阪(伊丹)60分 / 福岡70分 / 名古屋(小牧、中部国際)70分 / 静岡90分
 ○米子空港へ 東京(羽田)90分
 ※各空港よりJR松江駅まで連絡バスが運行しております。
 出雲空港(35分) / 米子空港(45分)



松江市長
松江歴史館
 〒690-0887 鳥根県松江市殿町279番地
 TEL.0852-32-1607 FAX.0852-32-1611
 ※最新の情報は松江歴史館ホームページにてご確認ください。
<https://matsu-reki.jp/>
 公式サイトはこちら▶

